

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	寺田 実・國廣 昇		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
terada@ice.uec.ac.jp kunihiro@ice.uec.ac.jp	<a href="http://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/FP04/">http://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/FP04/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
プログラミング言語Cの学習を通して、わかりやすく効率の良いプログラムを完成する能力を付けることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教科書：ザ・C[第二版], 戸川隼人著, サイエンス社. 参考書：C実践プログラミング (オウアルライン著、望月康司監訳、オライリージャパン) 参考書：プログラミング言語C (カーニハン/リッチー著、石田晴久訳、共立出版)。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
C言語の文法と基本的なアルゴリズムの構築方法を学び、UNIXワークステーションの計算機環境の中で演習を行なう。 なおこの科目は、コンピュータリテラシーを受講し、計算機の基本的な利用技術を習得していることが前提となっている。 授業は教科書の各章をほぼ順に取り上げる形で進める。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

演習時の小テスト 40点、期末試験 60点の計 100点で、60点以上を合格とする。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって、合格の最低基準とする。

「簡単な問題が与えられた時に、その問題の解決方法を構成し、それをC言語に翻訳して実行することが出来る」

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

本授業では、与えられた問題をコンピュータに解かせるために必要な、計算手順とデータ型についての基本知識を修得を目的にしており、実際にコンピュータに問題を解かせるために、Cプログラミング言語を併行して学習する。

### 【その他】